

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2872600248		
法人名	社会福祉法人しあわせ福祉会		
事業所名	加西の里 グループホーム		
所在地	兵庫県加西市段下町848-14		
自己評価作成日	令和 7年 10月	評価結果市町村受理日	令和7年11月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様、家族様との触れ合いを大事にしています。利用者様のなりたい生活像に近づけるよう日々の気づきを職員同士で共有し、ニーズに反映できるよう努めています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/28/index.php
----------	---

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人は、特別養護老人ホーム、デイサービス、居宅介護支援事業所、高齢者センターを併設した複合施設として、加西の地域福祉の貴重な拠点となっている。その中で、グループホーム「たんぼの家」は、法人理念である「地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される施設」として、開所当初から近隣の幼稚園、高校、トライやるウィークの中学生との交流を継続している開放的な事業所であり、園児の作品や高校生が制作したカレンダーが利用者や来館者の目を楽ませしてくれる。管理者は、現場職員が認知症ケアのプロとしてスキルアップし、より利用者の想いに寄り添った介護を提供できるチームケアを目指している。今後も地域に必要とされ、信頼される事業所としての実績を積まれるよう、管理者と職員の取り組みを期待している。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市小花1-12-10-201		
訪問調査日	令和7年10月30日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に信頼される施設となるよう運営推進会議等で地域住民との関わりを保つよう心掛けています。	施設理念と基本方針が食堂の壁に大きく貼られている。開設時より「地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される施設を目指す」という理念の元、地域の様々な団体との交流が継続されている。	施設理念を来館者も見えやすい場所に掲示されては如何でしょう。職員の気づきや振り返りになるような事業所独自の理念を職員自身で作成することも、より理念の浸透に繋がると思われます。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議、あったか相談員の受け入れ。地域の高校生、幼稚園からのカレンダーやお花等の差し入れ。トライやるウィークの受け入れを行っています。	近隣の高校生が制作したカレンダーやトライやるウィークで訪れた中学生の寄せ書きが居間に飾られている。幼稚園児が手作りした作品がたくさん届けられるなど、地域との交流は利用者の楽しみになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議やあったか相談員の受け入れを通じて地域の人々と交流しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事の実績や事故の報告を行い、地域住民の方、市役所の職員等からの意見をいただきサービス向上へ活かせるよう取り組んでいます。	本人、本人家族、市職員、地域代表が参加している。市から、防災対策や高齢者への詐欺防止の取り組み等が紹介され、地域住民の代表から、地域のイベントやお祭りの報告がある。事業所は、導入した福祉機器の利用目的や事故報告で情報を共有し、利用者のサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議やあったか相談員の会議を通じて市役所の職員や地域住民の代表の方たちと協力関係を築けるよう取り組んでいます。	市から派遣されるあったか相談員とのつながりで、市と事業所の連携が密になっている。グループホーム連絡会はないが、市役所で開催されるあったか相談員の会議に地域のグループホームの代表が出席し、そこで意見交換をする機会がある。	

自己	第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の適正化委員会を月に1度開催。研修を年2回実施し、職員へ周知するよう努めています。	身体拘束廃止の方針は作成され、パンフレットにも「身体拘束ゼロに向けて」という項目が記載されている。法人全体で開催する身体拘束適正化委員会に参加し議事録を回覧している。研修も年2回行っているが、職員の報告書は整備されていない。	職員による研修報告書の整備とヒヤリハットを出しやすい工夫をされては如何でしょう。ベッドの手すりによる安全確保は身体拘束に当たるか否かなど、職員で十分に検討し、家族の信頼に繋げてください。
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を月に1度開催。研修を年2回実施し、職員へ注意すべき事柄を学ぶ機会の提供に努めています。	虐待防止に関する指針は作成されている。身体拘束適正化委員会の中で、同時開催し、研修も行っているが、研修報告が書かれていないため、受け身で終わっている。	食事介助の基本である、利用者の横に座り、声をかけ、利用者の速度にあわせて介助をしているか等、職員自身が自分のケアが、利用者への尊厳を守る温かいケアになっているかを振り返る機会が必要かと思えます。研修は報告書を作成し、自身のケアのスキルアップに繋げることを願っています。
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在グループホームに成年後見制度対象者が1名おられます。日々のパッドやオムツの購入を通じて後見人様と連絡を取る機会があります。	成年後見制度を活用している利用者は、毎月の後見人の訪問を楽しみにしている。職員は、後見人に生活用品の購入依頼や書類の確認など、後見人の役割や利用者との関係性は理解している。制度に関しては今後学ぶ機会を設ける予定である。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学や事前ショート利用の受け入れを行い利用者様、家族様に説明する機会を設けています。	契約前に、ショートをお試しで利用することもある。契約時に、自己負担になる消耗品や入院時の利用料、居室確保期間なども丁寧に説明し、家族の納得に繋がるように努めている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を2か月に1度開催。あったか相談員が月に1度訪問。利用者様や家族様の意見を外部の方へ表せる機会を設けています。	定期的に訪問するあったか相談員が、利用者の意見を市に持ち帰り、検討した事柄は事業所に報告がある等、連携が密に行われている。改善に繋げた事例として、コロナ禍で使用したテーブルの衝立を、利用者の要望で外すことができた。直近では、管理者は家族アンケートからの要望を検討し、面会簿を作成する予定である。	

自己	第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を反映し備品の購入。設備の点検・更新を行って来ています。	利用者と職員との会議で、希望を吸い上げたり、日々の業務の中での職員の気づきを申し送り時に皆で検討し活かしている。利用者個々の状態に適した衛生用品を選択し清潔と快適な生活を支援している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護職員処遇改善手当が全職員に付与されています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症介護基礎研修、認知症介護実務者研修等の研修を受講する機会を設けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	集団指導やあったか相談員の会議を通じて同業者と交流する機会があります。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の意見と家族様の意見をくみ取り双方が納得していただける介護を提供できるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様の意見と家族様の意見をくみ取り双方が納得していただける介護を提供できるよう努めています。		

自己	第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、家族様の意見をくみ取り現在必要とされているサービスを薦められるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしの様々な場面において自立した生活を送れるような援助をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様と連絡を密にとり日々の体調の変化について伝えて面会する機会を設けています。差し入れや外出をされている家族様もいらっしゃいます。		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や友人の定期的な面会。2か月に1度散髪屋さんが来園。トライやるウィークや実習を通じての学生の受け入れを行いふれあいの場を設けています。	家族の面会や月1回の信仰の集会に、知人と出向くことが楽しみの利用者がある。入居前に通っていた馴染みの美容室に通う人、定期的に訪問する美容師と馴染みの関係になるなど、新たな関係作りも大切にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士のコミュニケーションの機会を設けるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所手続きの際に備考欄に何かございましたらご連絡くださいと書き込み家族様にも説明しています。		

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	運営推進会議やたんぼぼ会議を通じて利用者様の意見をくみ取っています。	ケアマネが、1人ひとりの利用者の心身の状態を把握し、思いをくみ取るよう努めている。自分のできるところは見守りに努め、できないところを手伝う姿勢を心掛けている。意思表示が難しい利用者は、表情等に留意し状態把握に努め、確認しながら支援している	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅ケアマネージャー、家族様、利用者本人様や友人の方など様々な方からの意見から過去の栄光や生活歴を把握できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタル測定、排泄記録、食事摂取量のモニタリングを行い体調に変化がないか観察しています。		
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様、家族様、友人等の意見を素に本人の望む生活をニーズ化し、担当者会議を通じて職員全員へ周知とディスカッションを行っています。	今年度7月にケアマネが交代し、個々の利用者情報の把握に努め、毎日個別の支援状況の記録をしてモニタリングにつなげている。当日の出勤者でサービス担当者会議を開催し、ケアマネが介護計画書を家族に説明し同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌への記入、連絡用ホワイトボードを通じて日々の気づきを共有できるように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の気づきから利用者様が望む生活に近づけるように柔軟に対応することを心掛けています。		

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	友人との面会、外出の機会、散髪屋さんの来園、トライやるウィークの受け入れ等を行っています。		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の際は協力医療機関を受診していただいている方、かかりつけの病院を受診される方双方いらっしゃいます。家族様の送迎の都合、本人の体調、早急性などを加味し適切な医療を受けられるよう支援しています。	入所前のかかりつけ医に継続受診している利用者が数名あるが、それ以外は入居時に協力医療機関と契約し訪問診療を受けている。整形外科からの訪問診療や歯科医師の往診を受ける利用者もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員同士の日々の気づきについて看護師、嘱託医師に逐次相談し早急な病気の発見につながるよう努めています。		
32	(15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にサマリーの提供を行っています。病院の地域医療連携室等にも定期的に連絡を行い、ADLや介護度の変更が必要かどうかなど相談をしています。	入院時は施設サマリーを提供し情報を伝えている。入院先は、協力医療機関や市立病院であり、現在入院中の利用者が近日に退院予定である。入院時の居室確保期間は2か月と記しているが、状況により柔軟に対応している。	
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	容態の急変に備えキーパーソンの連絡先を伺っています。特別養護老人ホームが併設されているため申込みを薦める場合もあります。	利用者が重度化したり看取りの時期等で、事業所での生活が困難になったときは、法人の特別養護老人ホーム等への入居を勧める事を、契約時に伝えた承を得ている。緊急時の意志確認書はもっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡経路の確認。AEDの使い方の確認を行っています。		

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設全体での避難訓練、消火訓練を実施しています。BCPを策定し地震等の自然災害と感染症の蔓延に際しての職員の招集基準を定めています。	法人内は、福祉避難所に指定されている。避難訓練は、法人で夜間想定を含め年3回実施しているが消防署の立ち合いはない。消火器の使用方法を業者が来て研修を行った。防災マニュアルを更新しBCPに盛り込み研修をしている。有事の際は地元の消防団の協力が得られる。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	耳の遠い方や同じことを繰り返される方の意見を否定せず傾聴することに努めています。個室にトイレが設置されています。お風呂時にも適切な距離感で接するよう努めています。就寝時部屋の施錠をされている方もいます。(緊急時は事務所の装置より開錠できます。)	自力で入浴可能な利用者は、職員はドアの外から様子観察し、声掛けで安全を確認している。医師の診察は居室で、排泄は居室トイレでしており廊下からは見えにくい設えになっている。夜間、要望があり職員が居室の鍵を掛けている利用者がある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	飲み物の選択、衣服の着こなし、トイレのタイミング等本人の意思に応じた介護を提供しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食に起きて来られない方には2時間の間は食事を取りおいています。無理に入浴してもらわず日をずらしたり時間をずらしたり柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ネイルサロンのレクリエーションを行いました。男性の方は髭そりを毎日実施し身だしなみを整えています。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普通、刻み、小刻み、ミキサー個々に合った食事形態で提供しています。台拭きやお茶のお変わり等を手伝っていただいています。	献立は、特別養護老人ホームの管理栄養士が作り、食材が届き職員が事業所のキッチンで作っている。食事形態は利用者の状態に応じ個別に支援している。利用者が、できる事をできる範囲で調理に参加している。包丁で上手に柿の皮をむいている利用者もいる。	

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41			○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士がメニューを作成しています。体重のモニタリングを定期的に行っています。こまめに水分補給を行い、場合によっては経口補水液や栄養補助食品を提供しています。		
42			○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後居室にてうがいを行っています。夕食後に入れ歯の洗浄、歯磨き誘導を行っています。		
43	(20)		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各利用者に応じたトイレ誘導を行っています。	各居室にトイレがあり、個々のペースで声掛けをしてトイレに誘導している。おむつ使用の利用者は、居室にて定時に交換している。自力で排泄し、パッドが汚れていると、利用者が自分で交換しバケツに入れ、溜まってくと職員に伝える利用者がある。	
44			○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	あまり大きな塊で調理せず消化しやすいような形態で提供できるようにしています。水分補給をしっかりと行い、場合によっては医師、看護師、薬剤師と相談し薬の調整をいただいています。		
45	(21)		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日を決めてはいるが、その日の血圧、脈拍、体温に応じて入浴日を変更したり、利用者様の拒否に応じては時間帯をずらしたり対応している。便失禁の際はシャワー浴を実施しています。	入浴は週に2回午後から支援している。自立の利用者には、見守り中心に声掛けして自立支援に取り組んでいる。浴槽の跨ぎが困難な利用者は、夏場はシャワー浴であるが、法人の特養の特殊浴槽を借りる事もある。	
46			○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動していただく様子ハビリ体操、散歩、歌などレクリエーションを行っています。利用者の体調に応じて家族様、医師、看護師、薬剤師と相談し眠剤を服用している方もいらっしゃいます。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47			○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々の気づきを看護師に相談し適切な薬を適正量提供できるよう支援に努めています。		
48			○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	たんぽぽ会議や日々の気づきから利用者様のニーズを発見し、個々の力に応じた楽しみを行えるよう模索しています。		
49	(22)		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月決まった日にちに安心して協会の祭りに参加されている方がいます。(信者様のうち信頼できる方が送迎してくれています。)家族様、利用者様の意見をくみ取り外出できるように、また安全に外出できるように体調に応じたアドバイスができるよう努めています。	法人の敷地内は果樹や花木、花壇の季節ごとの花で四季が感じられ、天候等の状況を見て散策している。毎月、決まった日に信仰の仲間の迎えで、祭りに参加する利用者がある。法人施設の車で少人数が交代で外食に行ったり、病院受診に家族と出かける利用者もある。	
50			○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物は施設の立替で行っています。利用料に施設立替金の項目で記載し家族様、後見人様に請求をしています。		
51			○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様のニーズに応じて家族様や、友人に電話をしていただいています。家族様等からの連絡時に本人に電話を替わり声を聞いてもらう支援をしています。		
52	(23)		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が味わえるよう飾り付けを行っています。気候に応じた空調温度、消灯時間等の配慮を行っています。テレビの音量も利用者様の意見を参考に調整するようにしています。	リビングには対面キッチンがあり、利用者の様子を見ながら調理ができ、天窗で明るく事務所からも利用者の様子が見える環境である。別事業所への行き来も自由にでき、窓から季節が感じられる廊下や玄関に、ソファや椅子を置き落ち着けるよう配慮し、湿温度計を設置して利用者の体調管理をしている。	

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53			○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日当たりのいい場所にベンチを設置することで気の合った利用者様同士でお話ができるような空間を作っています。		
54	(24)		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族様、利用者様が持って来られた雑誌、ラジカセ、化粧台、カレンダー等をおいています。	居室は、事業所が設置している収納庫が大きく、整理整頓したベッド周りに家族写真などを飾っている。塗り絵をしたカレンダーを壁面に飾り、居室から季節が感じ取れる環境である。居室トイレは廊下からは見えない設えであり、プライバシーに配慮している。	
55			○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口に利用者様の表札を設置しています。書初めやカレンダー等の作品に名前を記入し展示しています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・施設理念を来館者も見えやすい場所に掲示できていない。	施設理念等の掲示物を来館者も見やすい位置に配置する。	施設理念・グループホームの目標・契約書・重要事項説明書・成年後見制度の資料を玄関にファイル立てで掲示する。	3か月
2	6	・職員による研修報告書を整備できていない。 ・ヒヤリハット(気づき)を出しやすいよう工夫がなされていない。 ・ベッドの手すり等による安全確保は身体拘束に当たるか否かを職員で十分に検討できていない。	研修報告書を記入する。 日々の気づきを職員が入れる箱を設置し集計する。 日々の気づき、利用者の変化等を家族に連絡し家族との齟齬が無いよう努める。	研修報告書を記入する 日々の気づきを職員が書くための用紙を作成。 投票箱を設置。毎週集計し職員同士で考える時間を作る。考えた内容を家族にも共有するために毎月1度は電話等交流する時間を設ける。	3か月
3	7	・食事介助の基本である利用者の横に座り、声をかけ、利用者の速度に合わせて介助をしているか等、職員自身が自分の行っているケアについて利用者への尊厳を守るあたたかいケアになっているか降り返る機会が設けられていない。	日々の気づきを職員が入れる箱を設置し集計する。	日々の気づきを職員同士で考える時間を作り、利用者、利用者家族への尊厳を守る温かいケアに繋げていく。	3か月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。